

京都外国語大学・京都外国語短期大学

外部評価結果 入力シート

[点検項目：令和5（2023）年度事業報告書]

I. 評価者

所属・役職 京都商工会議所 常務理事
氏名 窪田 裕幸 様

II. 令和5（2023）年度重点目標・重点事業計画の総評

学園創立の志である外国語習得を通じた国際的理解を基盤として、世界の平和に貢献されようとする確固たる教育理念を明確に掲げつつ、社会のニーズや変化に応えるべく、全学的なPDCAサイクルとなる自己点検・評価を組み込んで、毎年の事業計画に反映し活動改善につなげられております。学長を筆頭とした執行部、学校関係者の大学発展に向けた強い意志がその仕組みの定着を支えているものと思慮され、不断のご努力に心より敬意を表します。

コロナ禍を経て世界の社会経済に新たな価値観が創出し、また価値観の多様化が伸長する中であって、令和5年度において、“新しいつながりを創出”しようとすることを運営方針とした第3期5カ年計画を策定されたことを評価したい。とりわけ、インナーコミュニケーションの活性化を図ることで、結果として内外のステークホルダーとの関係性が強化されることを期待します。また、その一つとして、「もっと京都プロジェクト」が着実な活動を始められているところですが、歴史や伝統文化はもとより、学術、観光、ものづくり産業、宗教など多様な都市特性を有する京都のポテンシャルをより一層活かされて、同事業を充実されていくことが、学園の発展の基盤づくりにつながるものと期待しています。

一方、前年度の自己点検・評価を踏まえ、志願者数の増加に向けた様々な取り組みをされましたが、それに見合う結果にならなかったことは残念であります。志願者数は学園の競争力の大きな源泉の一つでもあり、その要因分析とともに、目標設定のあり方も含め、執行部がリーダーシップを発揮され、今後の対策を講じられることが重要ではないかと考えます。